



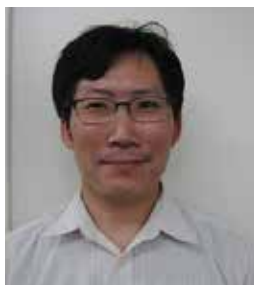
なかやま しゅういち
中山 秀一

担当 Web 企画室 お客様係

桜の季節が終わり、新緑がまぶしい今日この頃。外出自粛など大変な状況が続きますが、一人一人が日々の行動に注意を払い、心を一つにして乗り切ってもらいましょう！

さて5月といえば「母の日」。私が就職して間もない頃にプレゼントした帽子を、母が喜んで使い続けてくれたことを懐かしく思い出します。母は私がまだ歩き出すかどうかといった歳のころにも膜下出血で倒れ、一命をとりとめたものの記憶障害が残り、またその後もいくつかの大病を経験しながらも私を育ててくれました。元々ピアノの教師でしたが、病気の後はそれも弾けなくなりました。それでもいつでも明るく、ときには厳しく、そして人には優しく接する母の普段の振る舞いが、今になって思えば私自身の行動や考え方に大きく影響しているように思います。

そんな母は東日本大震災の年に亡くなりました。9年経ちますが、それでもときどき私の妻や子供たちから「ばあちゃんがさあ…」と話題になることがあります。亡くしてからまた改めて母の偉大さを感じます。9月の命日の頃には、埼玉へお墓参りに行けるくらいには、新型コロナウイルスの影響が収まっていることを願っています。



いしおろし りょうじ
石下 良治

担当 賃貸管理部 お客様係

皆様こんにちは。西那須野店賃貸管理部の石下と申します。

間もなくGWになりますがコロナウィルスの影響で不要不急の外出は控えている時期になります。

今回のGWは自宅で過ごすことになるかと思えます。早く事態が収束するのを願うばかりです。

さて今回のテーマは『私の母』ということで私の母親は子供の頃から私のやりたいことを尊重して応援してくれる優しさのある母親です。その一方でちゃんと叱ってくれたり、言葉遣いなどを教えてくれたり厳しさもある人です。今となっては感謝してもしきれない存在です。

私も子供が出来て親としてしつけをしたりしていく立場になり母親から教えてもらった優しさと厳しさを受け継いで子供に伝えていきたいと思えます。